

節電対応 「暑い・疲れる」

7月1日から夏期節電と休日輪番制がスタートしました。節電実施で「暑くて仕事どころではない」と開始早々から悲鳴。また、土曜、日曜出勤には、「自分だけ出勤は違和感がある」「土曜、日曜は体が覚えているので疲れる」「続けたら曜日感覚がなくなるかも」などの声が出ています。

一刻も早い 空調機の完全復旧を

「暑くて地獄だ」「扇風機では熱風しかこない」「7月末の復旧まで我慢はきつい」先の大震災で空調機が損壊した職場の多くは空調機がまだ復旧されず、猛暑のなかで仕事を余儀なくされています。節電と暑さ対策のため、窓だけでなく出入口のドアを開けっ放しにしている職場もあります。「暑くなるのは分かっていたのだから早目に手を打ってほしかった」の声もあります。一刻も早い完全復旧

が望まれます。

一方、空調機が稼働できない職場も、イントラHPに表示されている電力使用状況（現在使用電力量/制限電力量）を気にして、ぎりぎりまで我慢して冷房のスイッチを入れています。

熱中症対策は万全に

製造現場では「暑くて熱中症になりそう」の声が。昨年は猛暑で熱中症者が多かったです。熱中症を防止のためには、作業場所の日覆いや通風・冷房、休憩・水補給を適切に行う、作業員一人ひとりの健康状態を把握することなどが大事です。

特例措置は職場で働く 全ての人を対象に

休日輪番制に伴い会社は、就労支援の特例措置を実施します。家族の育児や介護・看護のための休職や休暇制度の条件緩和、育児・介護の費用補助などです。

対象者は、社員・嘱託・臨時員・シニア所員となっていますが、影響を受けるのは職場に働く人全員です。今回の特例措置を派遣社員やアルバイトなど非正規の人たちにも広く適用することが望まれます。

また期間中、一斉年休行使5日と10月以降の休日をシフトして休日を追加しました。この影響を一番受けるのも非正規の人たちです。派遣先である日立の責任で休日保障などを行うことが大企業としての社会的責任です。

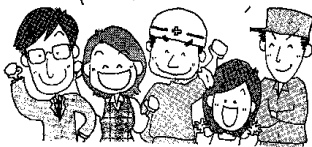
職場の点検とタイムリーな改善を

労働組合は「今後、実際に運営する中で生じる各種課題についても迅速な対応を行うことを心がける」としています。

職場の点検と職場の声を積極的に吸い上げてタイムリーな改善を行ってほしいです。

積立年休の取得は「事由」制限なしに

節電対応期間中は「土、日に限定して積立年休取得を認める」との会社通達がありました。しかし取得できる事由は、育児、介護・看護、社会貢献、地位域貢献などに限定されています。せつかくの特別措置も条件付だと、面倒で結局活用せずとなりかねません。「年休（普通）と同様に取得事由を限定しないようにしてほしい」が職場の要求です。



日立 懇 <発行> 2011年7月号
<日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

★連絡先 090-8747-6239 (馬場)

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net



▼操作器課組立係のUさんは5月31日付で定年となりました。Uさんは約1年半前、60歳定年までというところで千葉事業所から国分へ単身で移りました。定年後は家族のいる千葉へ戻り、千葉事業所か千葉テックで再雇用を希望していました。

しかし、国分事業所の再雇用会社RSC(AEリソースサポート)は千葉での再雇用受け入れを認めておらず、結局国分事業所で現職場とは異なる雇用先を確保するところまで話は進みましたが、Uさんはこれを断り退職して千葉に帰りました。まだまだ元気なUさん有能な技能が失われる気がしました。(AEパワー)

▼就業時間中に突然「このままでは電力制限値をオーバーしますので各職場は冷房の停止や照明を切るなど対応をお願いします」の構

内放送があり、ワントンポおいて職制の「冷房を切れ!」の指示で冷房を停止、照明も最小限を残して消灯した。まるで非常事態発生の有様に職場は一時騒然となった。放送は電力使用量が制限値の95%を超えたため。30分ほど経ってから「緊急事態は解除されました」の放送が流れた。今後このようなことが繰り返されるのか。(大みか)

▼震災で本館が使えなくなり分散していた一部設計などの間接部門が製造の事務所に移ってきた。2階事務所フロアの床が落ちるのではないかと心配させるぐらいの100人あまりの大所帯になった。冷房もあまり効かず、うちわや扇子で扇ぎながら仕事をしている。前から使用している製造部門では「窮屈になっただけではない。モラルがなくなって」と不満の声。反面、設計者の顔が見えて仕事やりやすい面もでてきた。(日立・国分)

▼組立職場は体温に近い35度の猛暑になった。風があつたため熱中症警告用温度・湿度計はレッドの危険に近いイエローマークでした。品物が大きいだけに空調が入っている建屋と入っていない建屋での組立・配線作業となり天国と地獄の差です。先日は他の課で救急車で運ばれた人がいて、課で用意したスポーツドリンクとお茶を飲み一息入れるとホットします。「下着を2枚持ってこないとダメだなあ」(日立・国分)

▼6月30日、全国安全衛生週間を前に全員集会がありました。そのなかで表彰式があり、安全標語、川柳、ポスターの1~3等を表彰しました。しかし「ポスターは該当者がKEC(AE機器エンジニアリング)なので省略します」と。そのアナウンスに「何故だ!」と異様な空気が流れました。(AEパワー)

▼上場企業の2010年度の1億円以上の役員報酬が

マスコミ(日経新聞)で公表された。それによると日立の中西宏明社長、川村隆会長が共に1億7千万円となっている。2009年度は川村社長兼会長(当時)の1億3400万円が職場で話題となった。日立は2010年度の業績が過去最高になったのでそれに見合った成果報酬なのだろう。今年の春闘では「強い日立復活の途上」「震災の影響で先行き不透明」とか言っていたが、役員はしっかり報酬をもらっている。(大みか)

▼近頃職場はグローバル化が進み、外国の人が珍しくありません。そこで気になるのがトイレです。工場内のトイレは和式がほとんどです。今、家庭も世の中にも洋式が主流です。工場にも少しは洋式がほしいですね。できればウォシュレットも。(AEパワー)

節電対策の声、声

▼子ども会の行事を計画し直さなければならなくなつた。(男親の参加がなくなつ

てしまう)▼地域の行事のため休まなくてはいけないが休みづらい。(3連休・4連休となってしまう)▼子どもが小さくて急に別の場所に預けても環境が変わって体調を崩すのではない心配。▼休みといつてもどうせ公休出勤しなくてはならない仕事量がある。意味がないように思う。▼世間体を考えたポーズではないか。HPL(高電圧・大電流試験場)も使えないので十分に節電しているのではないか。▼この暑さでクーラーが思うように使えない職場は拷問を受けているようなものだ。扇風機で風を対流させるだけでも随分と違うのではないか。小型の扇風機を事務室に設けてほしい。▼熱中症対策のために毎日一本ペットボトルの水を支給してほしい。▼この際、昼休みを1時間、2時間ぐらいにしてみてもどうなのか▼お盆に休めないのは地域の事情を全く考えてない。地域社会の一員としての企業としての自覚がないのでは。